

生徒の、生徒による、生徒のための学校づくり

本日の生徒総会に向けて、生徒会本部役員、各専門委員会の委員長を中心に準備を進めてくれました。また、先月25日の学級討議では、全生徒が各学級で話し合い、三尻中学校をよりよい学校にするための意見や質問を出してくれました。そのような準備が全て整い、本日の生徒総会が成立したのだと思います。議長団の皆さんも、本日の議事をしっかりと進めることができました。よくできました。ありがとうございました。

先ほど、正式に承認された議案の1つに「令和4年度生徒会予算案」があります。いくつかの学級からの質問にもありましたように、今年度の各専門委員会の予算を昨年度の予算額と比べると、大幅に増減があることに気が付きます。緑化委員会は昨年度に比べ15000円も予算が増えています。昨年度までは、例年通りのなんとなく決められていた予算額をそれぞれの委員会に配分していました。しかし、今年度からは違います。事前に、各委員会で、年間の大まかな活動計画をよく考え、委員会として実施したい活動に見合う予算額を配分する方法に変えたのです。ですから、昨年度の予算額と比べ、大幅に増えていたり減っていたりする委員会があるということになります。

今から150年以上前、アメリカ合衆国の大統領を務めたリンカーンが、演説の際に民衆に向かって呼びかけた「人民の、人民による、人民のための政治」という言葉を知っているでしょうか。この「政治」を「学校づくり」に置き換えてみると、「生徒の、生徒による、生徒のための学校づくり」となります。先ほどの「予算」の例は、「生徒の、生徒による、生徒のための学校づくり」につながるものと考えています。予算を例にお話を続けると、自分たちで考えた委員会活動を行うのは楽しく充実したものだと思います。ただ、その楽しさの裏側になるものもあります。各専門委員会には、事前に活動計画を練り、活動計画に見合った予算を考える責任があります。承認された活動や予算をしっかりと実行する責任もあります。生徒総会で承認をした全生徒には、各委員会の活動や予算の使われ方をちゃんと見届ける責任も発生するのです。三尻中学校の先生方は「皆さんなら、責任をもって、生徒会活動をより一層充実させることができる」と信じ、見守っていきます。

今回の生徒総会では、生徒会のスローガンも発表されました。「496の笑顔と個性が輝く三尻中学校 ～認め合い・尊重し合い・高め合い～」です。このスローガンこそが、生徒の皆さんが目指す「生徒の、生徒による、生徒のための学校」そのものなのだと思います。実現を楽しみにしています。以上で、講評を終わります。